聖籠町議会だより

VOL.138
3月議会
令和4年
4月28日発行
新潟県聖籠町議会

選択　集中
持続可能なまちづくりへ (P.2)
激論！ 一般会計当初予算 (P.6)
子ども見守り隊（蓮小）の声 (P.12)
ズバリ直言！ 町政を問う (P.16)

突撃インタビュー！
町　民
12／14000人に聞きました！
(P.14)

さくら満開 えがお満開
（せいろう幼稚園入園式）

新年度 一般会計 76億9500万円

選択 集中

持続可能なまちづくり

予算審査特別委員会

令和４年度予算審査特別委員会を、３月15日から18日までの４日間開きました。委託料に関するものや、行政ＤＸ、農業施策、幼児教育など細部にわたり審査や質疑応答が繰り広げられました。最終日には多くの議員から町長に対して総括質疑があり、激論が交わされました。

予算の執行にあたっては、町民にとってより良い成果を出せるよう慎重に取り組むことを期待します。

一般会計予算・特別会計予算　予算額

会計名	一般会計	特別会計								
		国民健康保険		介護保険	後期高齢者医療	県営開拓パイロット事業	下水道事業		水道事業	
		事業勘定	施設勘定				収益的支出	資本的支出	収益的支出	資本的支出
予算額	76億9500万円	13億3311万円	1億776万円	13億391万円	1億309万円	994万円	7億1700万円	4億8964万円	3億3万円	9716万円
前年度対比	－4億1500万円（△5.1％）	-3469万円（△2.5％）	406万円（3.9％）	-1856万円（△1.4％）	+268万円（2.7％）	±0円（0.0％）	2171万円（3.1％）	2983万円（6.5％）	+418万円（1.4％）	+5325万円（121.3％）

Pickup! 今年度 公共施設目玉事業

◎道路改良・舗装工事　8972万円

（※国・県からの補助　3804万円含む）

苔沼地区通学道路等（寺島網代浜線）の整備を行います。

工事予定道路

◎教室等の床改修工事　464万円

せいろう幼稚園の保育環境の向上を図るため、教室や教務室の床の改修をします。

◎聖海荘の修繕　1317万円

傷みの激しいセメント瓦や、車寄せの屋根、機械室外扉の改修を行います。また、洋式トイレ3つに温水洗浄便座を取り付けます。

聖海荘

Pickup! 今年度 未来へ目玉事業

◎消防ポンプ自動車入れ替え　1367万円

35年経過し放水力が低下したポンプ車1台を、小型動力ポンプ付普通積載車に入れ替えます。

◎配水管の布設替工事　5288万円

藤寄地内の配水管の入れ替えを行います。県道に埋設されている老朽化した配水管を、地震に強い耐震管に入れ替えます。

◎防災行政無線をデジタル化　1億6351万円

（※３年継続事業の２年目）

令和４年度は屋外スピーカー23局を更新します。
また、戸別受信機を順次更新します。

議員の視点

屋外スピーカーは、どこの地区から更新するのか。個別受信機は、当初の希望調査から変更は可能か。

答弁

聞き取りづらい亀代地区から着手します。

令和5年度に山倉・蓮野地区を更新予定です。戸別受信機は、防災用SNSが始まったことから、再度希望を取る予定です。

Pickup! 今年度 子どもへ目玉事業

◎子どもの「考える力」の向上へ　3948万円

子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、学校に関わってもらう専門職を配置します。

・新たに教育相談員を配置
・教育指導主事を1人増員

◎英語検定料の補助　24万円

中学生の英検３級合格者40％を目指します。検定料の２分の１を補助します。

議員の視点

中学生だけではなく、小学生にも広く周知し、英語教育の充実を図るべき。

答弁

中学生とともに小学生にも受験の案内をし、検定料の補助をします。

テリー・タン先生

アルバート・アリスガード先生

今年度のALTの先生です

Pickup! 今年度 福祉へ目玉事業

◎任意の予防接種の助成を拡充　335万円

高校生までインフルエンザ予防接種を助成します。
おたふくかぜ予防接種の助成を年２回に拡充します。

◎産後ケア・育児サポートを拡充　102万円

（※国・県からの補助　50万円含む）

医療機関や助産師と連携し、産後も安心して子育てができるように、心身ケアや育児サポートを拡充します。また令和４年度は助産師による訪問ケアを追加します。

◎新たな介護予防サービスの実施　159万円

（※国・県からの補助　55万円含む）

高齢者に、運動機能訓練・栄養指導・口腔ケアを一体的に短期集中でアプローチをする介護予防サービスを提供します。

◎子宮頸がんワクチン接種　604万円

小学校６年生～高校１年生相当を対象に、積極的に接種を勧めます。また17歳～25歳にも対象年齢を引き上げ、接種を勧めていく予定です。

令和４年度予算徹底審議　町民目線に立ち厳しく注文！

令和４年度予算について、予算審査特別委員会で慎重に審議しました。議員からの意見書を付けて紹介します。

町税が減収見込み

一般財源の確保を！

町税予算額が令和３年度と比較して8160万円の減収を見込み、財政調整基金を４千万円取り崩している。コロナ禍の緊急を要した歳出もあると考慮するが、取り崩しに対し憂慮する。自主財源である一般財源の確保に努めるべき。

町税こそ財源の柱

システム更新

DXの推進は慎重に

情報システム調達で受注が特定の業者に固定されていないか、システム更新でも競争入札が行われず費用が高止まりしていないか危惧する。国・県と連携してノウハウを共有し適正な料金維持に努めるべき。

競争原理が働いた公平な入札を

公　共　施　設

早期に判断を！

経年劣化の進んでいる施設や町民の利用の少ない施設などは、長寿命化より廃止という早めの決断も考えてほしい。

地場物産あり方検討委員会始まる

農産物販路拡大支援

生産者の一助に

物産展出店やインターネット販売など、生産者の販路拡大・所得向上を目的とした予算だ。
どのような経費に使えるのか事業内容の細部を早急に詰め、多くの生産者に周知し利用してもらえるよう努めてほしい。

町の特産品を全国へ

松くい虫　駆除

広がる前に早目の対策

町内の松くい虫被害を食い止めるため、個人所有の被害木の伐倒駆除（くん蒸）に対し補助金の増額をしたことは非常に効果があると考える。この制度を多くの方に利用してもらうための手立てを考えるべき。

町の松を守れ

特産品づくりを支援

当初の目的を遂行できず

農産物加工センターは、町の農産物の６次産業化と、地産地消を目的とし設置された。しかし、現在この施設が十分に活用できているか疑問だ。早急に体制を立て直し、生産者・消費者が共に潤うような方向を目指してほしい。

６次産業化の拠点（農産物加工センター 餅作業室）

欠かせない地域防災

検討を！処遇改善

消防団の団員確保は持続可能な地域防災には欠かせない。国からの消防団員の処遇等に関する検討会の報告書には団員確保、士気の向上、家族の理解などのためにも、処遇の改善を行うよう記載されている。消防団と町とで処遇の改善を検討してほしい。

有事に備え万全な体制を

給食調理量の減少

なぜ委託料は同額か

給食調理等業務委託料は、前年度とほぼ同額で計上されている。しかし、新年度はこども園の給食調理が減るため全体の仕事量が減り、委託料も減額となると考えられる。本来は給食提供数に対しての委託料であるべきだ。執行時に検討してほしい。

委託料に見合う給食を

令和4年度 一般会計当初予算 討論

討論とは、議題となっている議案が採決される前に、議員がそのことに対して賛成または反対の立場に立って演説をすることです。そして意見の異なる相手に、自分の意見に同調してもらうよう働きかけることです。

反対　長谷川六男

農家の方からは、農業政策に関して町長は力が入ってないと不満の声が多く聞かれる。財政が厳しいからといって、明るく希望の持てる公平な予算案ではない。町民の中には以前より町は活気がなくなったという人もたくさんいる。町民の幸福度を高めるというが、「生まれてよかった、住んで良かった」と思える町とは、皆が平等に幸せを感じられる町ではないか。

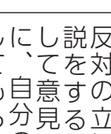
賛成　中村恵美子

予算委員会では一般会計予算、特に物件費が多くなっているとの質疑も出されたが、令和元年度からは新型コロナへの助成金等で増大、ふるさと納税も最近大幅に伸びている。6人の議員から新生幼稚園、ざぶ～ん館、地場物産館などに質問があったが、町長は懇切丁寧に答弁した。ただ商工政策については私も不満があるが理解できた。各議員の賛同を求める。

反対　青木　順

ざぶ～ん館委託料3300万円に反対だが、ざぶ～ん館が問題ではない。政策的な予算付けが必要だ。しっかりしたビジョンを持つのが自ら手を上げ町民に選ばれた町長の責任である。保育体制が激変するが、まだ町と運営業者との間で正式な契約書を交わしていなく、予算議決後に契約するのは不安を感じる。新保育体制は本当に町民が望んだものなのか。

賛成　髙崎美由貴



新しい子育てシステムを実現させる重要な予算だ。0歳児から5歳児まで同じ園というのは、環境の変化というストレスを減らし、スムーズな就学につながる。また、保護者がさまざまな園の特色をよく見、選択できる。

今の子育て世代のためにも、令和4年度は止められない。子どもとその親たちをないがしろにするような、修正案の無い予算案反対は許されない。

賛成　手嶋　満

半世紀続いた町の子育てシステムが新たなシステムに移行し始まる。

今年度予算可決がなければ、この事業も遅延してしまう。私自身、予算内容に対し100％納得しているわけではないが、町民にとっても大切な事業を遅滞なく実行することが必要であると考える。

反対　田中智之

一般会計当初予算は約77億円に増大。町長は「国・県の支出金等の特定財源が増えた」「一般財源は年々減少」と答弁した。間違いではないが、問題は一般財源の落ち込みだ。西脇町長が目指した財政改革は「無駄な事業の廃止、一般財源の確保」だったはずだ。就任直後の新聞で「当初予算を60億程度まで下げたい」と言ったではないか。政治家の言葉は重い。

賛成　宮沢光子

聖籠町は不交付団体であるが故に、これまでも、自主財源で主なまちづくりの施策を行ってきた。過去の施策が時代の変化等で負の遺産になっているように思う。現町長は任期4年間の半分以上新型コロナ対策に追われながらも、過去の課題について、議会に対し頻繁に情報共有を行ってきた。その時点で深く議論をせず当初予算に反対するのは感情論だけの反対である。

3月議会 定例会

令和4年3月定例会は3月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。

一般質問には13人の議員中9人が登壇し、西脇町政4年間の検証や次期出馬、教育全般、町の情報発信、マイナンバーカードの普及、コロナ対策、2年続けて延期となっている成人式などについて活発な論戦が交わされました。

また新年度予算や条例の改正、農業委員への同意、町道の認定、補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

町立幼稚園条例の一部改正

新生町立幼稚園の名称、預かり保育時間と料金等の改正

長谷川六男議員　入園に際し希望が通らなかった保護者もおり、新聞には町長の謝罪も載っていた。そもそもこういう事態が想定できなかったのか。

町長　移行期でもあり想定以上の方が認定こども園を希望した。見込みが甘くお詫びする。ただ、入園調整は毎年行っているが、必ずしも全ての方が第一希望とはいかないのは仕方がない。

中村恵美子議員　幼稚園が一つになることで送迎がなくなるが、現在の停留所は今後どう扱うのか。なるべく集落の希望を考慮し、対応して欲しい。

町長　建物があるので、それらをどう処理するのかは新年度に入ってから設置場所等の状況を踏まえて対応していく。

宮沢光子議員　学校給食共同調理場設置条例の改正で、運営委員数を15人以内から12人以内に改めた。3人削減の理由は。

子ども教育課長　現在は14人に委嘱しているが、今後3園が1園になるため2人減らした。

髙松守雄議員　新設される認定こども園だが県の認定は済んだのか。また、運営する法人の経営基盤について調査はしたか。

町長　経営基盤の調査だが、国庫補助金の申請時には経営内容が問われ、そこで国は了とし補助金交付した。健全な法人だ。

子ども教育課長　認定された後に保育が移行。運営責任は法人にある。

青木順議員　今回の預かり保育に関する町の幼稚園の方針変更では多くのクレームを聞いた。今後は混乱がないようにし、保護者・地域の要望に応える考えはあるか。

町長　保護者の要望全てに対応するのは無理だが、一定の基準に基づいて対応する。今回の町立幼稚園の預かり時間緩和策は移行期における暫定期間であり、やむを得ない。

田中智之議員　町立幼稚園と保育に特色を打ち出している私立の認定こども園で、小学校入学の際に幼児間での教育格差は生じないか。

町長　公立・私立が切磋琢磨することで良い保育・教育ができる。教育格差の不安解消のため、幼児教育アドバイザーを設置し全体的な調整をする。

農業委員会委員の同意

青木順議員　農地利用最適化推進委員がやっていた仕事も引き継ぐのか。

町長　農業委員が担うことになる。ただし今までの10人ではニーズが足りないので13人とした。

田中智之議員　委員の募集締め切りは1月11日。しかしその後町は締め切りを延長し、最終的に2人が選考漏れした。最初に応募した方を優先するべきでないか。

町長　農業委員会法では、募集の際は定員に達するよう努力をしなければならないと規定される。第一次と第二次募集において優先的な選考はない。

定住自立圏形成協定の変更

手嶋満議員　この協定は新発田市と聖籠町の締結だが、なぜ協定書に胎内市という文言があるのか。

総合政策課長　協定は新発田と胎内、新発田と聖籠となるが、事業自体は3市町の事業を盛り込むためだ。

補正予算 令和3年度 最後の補正予算が成立

実績見込みを計上

年度末となる3月補正予算は、3月31日までの約3週間の間に、各事業で予想される金額を実績見込みとして残し、減額計上されました。

項目	補正額		主な内容		総額
一般会計	1億1737万円	歳入	県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付事業補助金	4675万円	91億150万円
			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4175万円	
			法人町民税	4000万円	
			地方消費税交付金	1587万円	
			子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金	−567万円	
			緊急防災・減災事業債	−3670万円	
			新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休園・臨時休校等に伴う予算の減額	−7420万円	
		歳出	公共用施設維持基金積立金	1億478万円	
			財政調整基金積立金	1億円	
			新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	4672万円	
			デジタル同報系防災行政無線整備工事	−3670万円	
			県営正庵角庵地区湛水防除事業負担金	−4147万円	

主な質疑

Q 今こそ利用されるべき

中村恵美子議員 育英生貸付金利用者が減少したが、他自治体にはない無利息の良い制度だ。今こそ利用されるべきでは。

A さらに周知していく

子ども教育課長 通常は入学前だが、年間通しての申し込みも検討できる。さらに周知をしていく。

Q 把握できなかったのか

宮沢光子議員 町のホームページの検索バーに警告が表示される。担当課で把握できなかったのか。いつごろ解消予定か。

A 課内で気づけなかった

総務課長 町民からの指摘で知った。3月末までには解消したい。

新たな農業委員13人を紹介!!

令和4年3月31日で農業委員が任期満了となるため、新たに13人の同意を求められました。採決は起立で行い、13人すべてを全員賛成で同意しました。

本間政春（ほんままさはる）さん（蓮潟）

八幡裕（やわたゆう）さん（大夫興野）

神田勝（かんだまさる）さん（丸潟）

新保要一（しんぼよういち）さん（山三賀）

栗原一成（くりはらかずなり）さん（本諏訪山）

堀常正（ほりつねまさ）さん（網代浜）

宮野公之（みやのきみゆき）さん（山三賀）

新保勇（しんぼいさむ）さん（杉谷内）

齋藤直樹（さいとうなおき）さん（網代浜）

新保昭治（しんぼしょうじ）さん（大夫興野）

岩渕せん（いわぶちせん）さん（二本松）

宮下吉勝（みやしたよしかつ）さん（次第浜）

齋藤睦子（さいとうむつこ）さん（蓮潟）

農業委員会ってどんな活動をしているの？

農地に関する事務を執行する行政委員会

農業委員会の仕事

- 地域農業の振興
- 農地等の利用の最適化
- 農地法に基づく農地の売買・賃借の許可
- 農地パトロールによる遊休農地の発生防止・解消 等

みなさんの声　請願2件を調査

全員反対で不採択

◎老年基礎年金等の抜本的な改善を求める請願

［提出者］全日本年金者組合新潟県本部　委員長　稲葉正美
全日本年金者組合新潟県本部聖籠支部　支部長　石井吉春
→請願書の記載に不備があり、厚生産業常任委員会で不採択になったことを受け、全員反対で不採択となりました。

全員反対で不採択

◎「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願書

［提出者］新発田民主商工会　聖籠支部長　中村登
→請願書の記載に不備があり、厚生産業常任委員会で不採択になったことを受け、全員反対で不採択となりました。

発議第1号　拉致被害者全員の即時帰国を求める*意見書を国に提出しました。

発議第2号　ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める*決議を提出しました。

・議会の豆知識・

***発議とは？**
議会において、議員が議事の対象となるべき問題を提出すること。

***意見書とは？**
地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して議会の意思を意見としてまとめたもの。

***決議とは？**
議会が行う意思決定行為のこと。議会の意思を対外的に表明することが必要なときになされる議決のこと。

施政方針

西脇町長（にしわき）

寄付額は、令和4年度の教育、福祉、防災などの各種事業に充当されます。

町特別大使を創設
スポーツや文化・芸能での活躍によりその分野において著名な方を特別大使に任命することで、町の知名度向上およびイメージアップにつなげるため、新たに聖籠町特別大使制度を創設しました。

子宮頸がんワクチン接種
平成25年6月14日付け厚生労働省健康局長通知に基づき積極的個別勧奨等は控えていました。
令和3年11月26日付けの厚生労働省健康局長通知により、今後は個別勧奨等による積極的な勧奨を行うよう新たな通知が示されました。本町では中学1年生に加え、令和4年度に14歳から16歳になる方について個別勧奨を行います。

暮らし応援事業
令和3年度から3カ年の予定で町内住宅関連事業者の振興と地域経済の活性化および子育てや転入・若者世帯の定住対策並びに空き家対策を推進するため、そこに居住することを条件に、住宅の取得や既存住宅のリフォームに関する費用等を支援する事業を実施しています。

新子育てシステム
令和4年4月開園に向け私立保育園の準備が順調に進められています。
想定以上に私立認定こども園への入園希望があり、新しい子育てシステムへの移行期間における暫定的な対応が必要な場合、救済対応として町立幼稚園での預かり保育時間延長等で対応します。

ワクチン接種
新型コロナワクチン接種の追加接種（3回目接種）は、2月11日から13日までの3日間保健センターで集団接種を実施しました。5歳から11歳の小児ワクチン接種は、7歳以上の子どもを対象に、1回目を3月23日、4月2日、3日に、新発田市コモプラザで新発田市との合同接種を行います。
また、町診療所でも5歳から11歳の子どもを対象に4月18日から20日までの3日間集団接種を実施します。

ふるさと納税
令和3年度は多くの皆さんのご協力のもと、2億円を超える寄付額を達成することができました。

議員表決結果報告

令和4年第1回聖籠町議会臨時会　議員個々の賛否：賛成＝○　反対＝×　欠席＝欠　※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1 髙崎美由貴	2 伊藤千穂	3 手嶋満	4 宮沢さやか	5 小川勝也	6 青木順	7 田中智之	8 髙松守雄	9 宮沢光子	10 中村恵美子	11	12 須貝龍夫	13 長谷川六男	14 五十嵐利栄	採決結果
町長	令和3年度聖籠町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決

令和4年第2回聖籠町議会臨時会　議員個々の賛否：賛成＝○　反対＝×　欠席＝欠　※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
町長	専決処分の承認を求めるについて［令和3年度聖籠町一般会計補正予算（第12号）］	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	承認
	令和3年度聖籠町一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決

令和4年第1回聖籠町議会定例会　議員個々の賛否：賛成＝○　反対＝×　欠席＝欠　※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	採決結果
町長	聖籠町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町家庭・地域教育審議会条例及び聖籠町いじめ防止等対策委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町立幼稚園条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	聖籠町農業委員会委員の任命につき同意を求めるについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	同意（同意第1号～13号全て）
	町道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	町道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	定住自立圏形成協定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町一般会計補正予算（第14号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町一般会計補正予算（第15号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和3年度聖籠町水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度聖籠町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	×	－	可決
	令和4年度聖籠町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度聖籠町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度聖籠町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度聖籠町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	令和4年度聖籠町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
請願	老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	－	不採択
	「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	－	不採択
議員	拉致被害者全員の即時帰国を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決
	ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久的平和を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決

第1回 臨時会 1月19日

一般会計補正予算は既定の歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1億8289万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ89億5525万4千円と定める予算を全員賛成で可決しました。

主なものとしては、

歳入
- 住民非課税世帯等臨時特別支援事業費補助金 1億2235万円
- ふるさと応援寄付金 4千万円
- 繰越金 2054万円

歳出
- ふるさと納税返礼品 1600万円
- 住民非課税世帯等臨時特別支援事業費扶助費 1億2千万円
- ふるさと応援基金積立金 4千万円

となります。

第2回 臨時会 2月4日

除雪に関する修繕料

Q 何の修繕料か

中村恵美子議員 修繕料213万5千円は何の修繕料か。

A 除雪機械の修繕料だ

ふるさと整備課長 直営の除雪車の物損事故と老朽化した重機の修繕料だ。

大雪に備え 準備は万全に

除雪機械運転手謝礼、除雪作業委託料

Q 職員が対応できないか

高松守男議員 除雪作業は人手不足が心配される。町職員に資格を取らせ、対応できないか。

A 残念ながら無理である

町長 職員は一般事務で配置しているため無理である。しかし、用務員で資格を持った方も採用をしており、それは検討の余地がある。

---

1 毎朝、子どもたちに元気をもらっています。眠い朝でも、子どもたちの声に「さあ、一日が始まるぞ」と元気百倍です。

2 歩道が途切れているので、子どもたちの安全のために整備をお願いします。特に冬場は道路幅が狭いです。

とうま しげる
藤間 殖さん
（蓮野）

蓮小地区 子ども見守り隊の声

Smile すまいる Vol.11

質問項目
- Q1 登下校の見守り活動の中で思うこと、感じることは？
- Q2 町に期待することは？

1 愛犬（コロ）のお陰で見守り活動を続けられています。子どもたちのあいさつで元気をもらっています。

2 安心して遊べる広場を作ってほしいです。

さいとう けんいち
齋藤 健一さん
（山三賀）

1 子どもたちが安全に登下校できるよう注意しています。また、責務だと思います。

2 通学路に危険な場所がないか、または標識など点検確認をお願いします。

こばやし かつお
小林 克男さん
（正庵）

第24回 追跡レポート

その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成24年から令和2年の間に議会で審議・採択された請願・陳情の中から、私たちの生活に深く関わるもの4件について、その後の状況を調査しました。ご報告します。

請願 通学道路に歩道を整備してください

請　願　名　苔沼地区通学道路整備に関する請願書
提　出　者　苔沼区長　中村 利雄　他3人
議会採択年月日　平成26年6月23日

処理状況

令和3年度に学校給食調理場側から中学校方面まで、287mの用地購入・物件補償を完了しました。

今後の計画

令和4年度に358mの改良工事・舗装工事、令和5年度に287mの改良工事・舗装工事を実施の予定です。

▲現在のようす（令和4年3月下旬）

請願 通学道路に歩道を整備してください

請　願　名　蓮野苔沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書
提　出　者　別條区長　本間 和人　他2人
議会採択年月日　平成26年12月15日

処理状況

令和3年度に2工区、八幡～別條の332mの改良工事・舗装工事を完了しました。

今後の計画

令和5年度以降に3工区、別條地内290mの用地測量～工事を実施の予定です。

▲現在のようす（令和4年3月下旬）

陳情 道路を拡幅してください

陳　情　名　道路拡幅整備に関する陳情書
提　出　者　丸潟区長　犬井 栄　他2人
議会採択年月日　平成27年12月14日

処理状況

令和3年度に用地測量業務委託、物件調査業務委託を実施しました。

今後の計画

令和4年度に用地買収、物件補償を実施の予定です。

▲現在のようす（令和4年3月下旬）

陳情 通学路に指定して、防犯灯、横断歩道の整備をしてください

陳　情　名　通学路の指定及び防犯灯と横断歩道の整備に関する陳情書
提　出　者　蓮潟区長　神田 勉　他1人
議会採択年月日　令和元年12月16日

処理状況

令和3年度に防犯灯設置工事を完了しました。

▲現在のようす（令和4年3月下旬）

突撃インタビュー！ in なごみの家，図書館，ざぶ～ん館

聖籠町民 12／14000人 に聞きました！

質問項目

- Q1 町のここが好き♥ TOP2
- Q2 町にあったらいいな こんなもの TOP2
- Q3 議員（町）にひとこと！

なごみの家 佐藤 信子（のぶこ）さん（蓮潟）

Q1 1. なごみの会が楽しい 2. 果物が美味しい

Q2 1. 特になし、満足 2.

Q3 年寄りの笑顔が見える町にしてください。

ざぶ～ん館 圓山 真美（まるやま まみ）さん（道賀新田）

Q1 1. 丁寧に対応してくれた役場職員 2. 果物がおいしいところ

Q2 1. 公共交通機関の利便性を高めてほしい 2. 高齢者にとって住みよい町に

Q3 町民の声を拾い、より良い町にしていただきたいです。

なごみの家 石村 英子（いしむら えいこ）さん（蓮潟新田）

Q1 1. 買い物するところや病院があって良い 2. 老人に優しいところ

Q2 1. 自由に楽しめるところ（体の不自由な人のため） 2. 図書館で読み聞かせがあると良い

Q3 高齢者向けに交通の便が良くなってもらいたい。

図書館 小池 裕大（こいけ ゆうだい）さん（聖中ケ丘）

Q1 1. 大きな図書館がある 2. きれいな海が見れる

Q2 1. 映画館 2. 遊園地

Q3 今後の聖籠町をよろしくお願いします。

ざぶ～ん館 天尾 壮一郎（あまお そういちろう）さん（藤寄）

Q1 1. 町民の温情 2. 弁天潟風致公園

Q2 1. 憩いの広場 2. 水族館

Q3 日々研さんを積み、まずは自分の見識を出してからの通告をお願いします。

なごみの家 長谷川 幸子（はせがわ ゆきこ）さん（蓮潟）

Q1 1. みんな親切で温かい 2. ゴミ袋が無料で良い

Q2 1. カラオケ大会（ゲストが来る） 2. 出会いの場がほしい

Q3 除雪をしっかりやってほしい。老人への除雪補助がほしい。

ざぶ～ん館 石田 眞季（いしだ まさき）さん（蓮潟）

Q1 1. ざぶ～ん館を支援しているエネルギー産業の誘致と前進 2.

Q2 1. 健康マージャン施設 2. ゴミ捨場に監視カメラ

Q3 東港のバイオマス発電所の建設計画を議会一致で進めて欲しい。

図書館 福田 遥己（ふくだ はるき）さん（聖中ケ丘）

Q1 1. 海がある 2. 図書館がある

Q2 1. バッティングセンター 2. 映画館

Q3 聖籠町がいい町になるように頑張ってください。

ざぶ～ん館 松木 由紀（まつき ゆき）さん（山諏訪山）

Q1 1. 温泉施設がある 2. ご近所さんと気軽に話し合える

Q2 1. 一人でも入れるおしゃれな喫茶店 2. 映画館

Q3 後期高齢者になって感じるようになったのですが、つまらない話でも聞いてほしい。

ざぶ～ん館 平原 広大（ひらはら こうだい）さん（杉谷内）

Q1 1. 天然温泉施設があること 2. 新鮮な果物・野菜があること

Q2 1. 地元果物を使ったジェラート屋さん 2. 夜間も利用できるドラッグストア

Q3 笑顔・健康になれるように［自分の体を知る］機会が欲しいです。

ざぶ～ん館 吉川 晶（よしかわ あき）さん（旭ヶ丘）

Q1 1. 自然が豊かなところ 2. ざぶ～ん館に町民割があること

Q2 1. 物産品をＰＲするような施設 2. 地域に密着した古き良き商店街

Q3 町にある良いものは残し、それが継続できるようにしてほしいです。

なごみの家 長谷川 トミイ（はせがわ とみい）さん（蓮潟）

Q1 1. みんなが隣近所と仲良く過ごせるところ 2. のんびりしているところ

Q2 1. 集まりの時に利用できる施設があるので良い

Q3 町の人が良くしてくれています。

執行成果

長谷川六男議員の視点

西脇町政４年間の成果は

町長　公約が実現できるよう取り組んだ

問 約４年間、町制執行した中で、町はどのように変わったと思うか。

町長 施策によって多くの町民が、日常生活のさまざまな場面で変わったという実感を持ってくれたのではないか。行財政の見直しでは、事業の性質によって直接の関わりを実感する方とそうでない方がいるため、全ての町民に変わったという実感をしていただくことは難しい部分がある。

問 町民と一緒に希望の持てるまちづくりができたか。町民の幸福度・満足度は高まったと思うか。

町長 施策の展開をどのように受け止め評価するか、町民各位に判断をいただくものと考える。

問 まちづくりの原点と掲げた公平・公正な行政執行はできたか。

町長 重要な行政課題については積極的に情報を公開することで、町民と課題共有を意識的に図ってきたところだ。公平・公正な行政執行を進めていく姿勢は理解いただけていると考える。

問 次期町長選の出馬の考えは。

町長 私の考えはまだまとまっていない。

サッカーの町としてPR拡充を

問 JAPANサッカーカレッジが亀代中学校跡地に開校してから約20年になる。全国から毎年多くの学生が入学している。同時期にビール工場が進出予定であった場所に、アルビレックス新潟のクラブハウスもできた。練習を一目見ようと、各地から大勢のサポーターが来ている。それらの人たちに町の魅力を感じてもらうために、もっとPRする必要があると考える。特に初めて来る県外の人は、サッカーの町ということも知らないと思う。PR看板を掲げるなど広報活動に力を入れる考えはないか。

目指せJリーガー（JAPANサッカーカレッジ）

町長 県内でも、聖籠町の魅力が十分に伝わっていない方もおり、対応が必要かと考える。県外の方となればなおのことで、PR活動の必要性も感じている。

教育長 関わりについては広く町民や県内の方々にお伝えできるよう、学校から報道機関へ情報提供するなど、広報活動に努めている。

コロナ禍のひとり親家庭に支援を

問 コロナ禍により困窮しているひとり親家庭等に、町独自の支援策は。

町長 現在、町では国・県事業や町単独事業によるさまざまな支援策を講じている。

教育施策

宮沢光子議員の視点

２期目への出馬の考えは

町長　４年間を振り返り考える

問 町長選の日程が８月23日告示、28日投開票と決まった。２期目への出馬について、年明けと３月初旬の新聞報道の中で「気持ちは白紙である」と町長は答えている。しかし、当初予算案を公表したいま、出馬をどう考えているか。

町長 予算編成は終わったが、議決を経て予算は成立する。予算審議を見極めて自分の４年間を振り返り、今後のことを考える。

問 町長は就任後、選挙公約や政策をそれなりに進めてきた。しかし、ここ数年、新型コロナウイルスの対応策に振り回されてきた感がある。コロナ禍で、自分の考えていたまちづくりはどの程度できたと思っているか。

町長 就任から町民説明会や号外等で積極的に情報を開示してきた。まちづくりに対する町民の協働という意識が高まり、それが未来へと引き継がれていく形が自分の考える原点である。しかし、コロナ禍で、４年間で思い描いたまちづくりには達していない部分はあると思っている。

教育未来課の新設で何が変わる

問 令和４年度から組織見直しにより教育未来課が新設される。

３つの小学校と１つの中学校しかない聖籠町にわざわざ新しい課を新設する必要性があるのか疑問を感じる。新年度に入り、動き始めたら具体的な課の仕事が分かると思うが、保護者や学校関係者にとって、何が変わり、何が変わらないのか。

町長 近年、子ども教育課の業務内容が教育環境の充実を図るため幅広い専門職を抱える課になっていた。どこかの時点で課を分ける必要性があった。

教育未来課の新設で子どもたちの基礎学力向上につなげていきたい。

教育長 時代の変化、教育行政の細分化や多様化、国の教育改革の推進等で、これまで教育の専門職を配置した。

教育未来課の新設に伴い、各専門職が密接に連携して、課題解決に向けて取り組むことで学校・園への支援、指導ができるものと考える。

問 幼児教育センターは、聖籠町の特色ある教育施策の一つであるが、新設される教育未来課との連携等をどう考えているか。

教育長 幼児教育センターは教育未来課内に設置となる。幼児教育の質の向上をさらに充実したい。

結集した教育のプロの力に期待

情報発信

宮沢さやか議員の視点

活用の幅を広げ　町民に身近な形に

町長　まずは登録者数増を目指す

問 本町でもSNSの活用が始まった。現時点でLINEの登録者数は1260人、ツイッターのフォロワー数は235件だ。今後、どのように活用の幅を広げていく予定か。

町長 まずは登録者数を増やし、多くの町民に情報発信方法を定着させていくことに力を入れていきたいと考えている。

問 町の公式LINEから町のホームページ（HP）に直接リンクできるようになり利便性は上がったが、他市町村と比べると見づらいと感じる。利用しやすいデザインにすべきではないか。

町長 庁内ワーキングを立ち上げ、検討していく。

問 県内でもスマートフォンに対応している自治体は多い。活用の幅を広げるため、ぜひ変更を。

町長 できれば次年度で委託経費を計上し、見直しを行いたい。

問 UDフォントは多くの人が読みやすいように設計された書体だ。活用は進んでいるか。

町長 広報せいろう一般号やお知らせ号、号外、社会教育だより、HPは基本的にUDフォントを活用している。

図書館の充実を

問 「学習の場としてもっと図書館を利用したい」という学生の声を聞く。町では依然として感染者が多いため、現在も学習スペースの利用ができない。感染対策を講じ、利用できないものか。

教育長 感染拡大防止のためであることをご理解いただきたい。

問 学習スペースがある近隣自治体もある。距離を保つことで、スペースは確保できるのでは。

教育長 必要性は認識しており、できるだけ早く開放できるよう準備は進めていきたい。

問 子どもの読書活動を充実させ、読解力を向上させることは、学力向上への一助になると思う。学力向上に向け図書館が果たす役割は。

教育長 読書好きの子どもを育てることが重要。幼・小・中を通した家読（うちどく）を推進し、家庭や学校での読書習慣の形成に向け取り組むこととしている。

問 図書館の情報発信としてSNSを活用していくことも、図書館の充実に向けて必要なことであると思う。学生のスマートフォン所持率は高い。LINEを活用した子どもたち向けの情報発信も考えてはどうか。

図書館長 今後はSNSを活用し、生涯学習のカテゴリーから発信したい。

防犯灯

小川勝也議員の視点

集落規模に応じた補助を

町長　区長会議の意見聞き検討

問 防犯灯の点検・更新を集落単位で行っているが、一部集落では大きな財政上の負担となっている。集落規模に応じた補助をすべきでないか。

町長 現時点では、防犯灯1基ごとの一定の補助を続けていく。

教育分野全般の課題は

問 4月以降、旧蓮野こども園と旧亀代こども園の園舎の利用方法は決まっているのか。

教育長 蓮野こども園園舎は、遊戯室や保育室の一部を有効利用し、残るスペースは、社会福祉協議会などの外部団体への利活用を検討している。亀代こども園園舎は、真心福祉会へ無償貸し付けし、認定こども園の活動、地域子育て支援センターの活動拠点として利活用される予定。

問 各私立認定こども園と町立図書館との今後の連携は考えているか。

教育長 読み聞かせ、図書館訪問など、園の担当者と実施方法を協議予定。

問 海外、国内での子どもたちの交流事業を今後どのように進めるか。

町長 新型コロナウイルス収束後、改めてハルビン市と協議。川越町との交流は、めどが立った際、推進していく。

その他の課題は

問 職員の自席パソコンがインターネットにつながっていないと聞いた。つなぐべきでないか。

町長 自席パソコンは、インターネットから遮断された総合行政ネットワーク用と、マイナンバーなど特定個人情報を扱う情報提供ネットワークシステムに接続されたものがある。国からの指導のもと、安全性確保の観点から現段階では考えてない。

問 昨年こども園で照明ポールの折損事故があった。その後、臨時の点検を行ったと聞いた。点検結果はどうであったか。

町長 臨時点検はしていないが、各施設の点検の有無、方法等について調査を行った。今後このような事故がないように管理を徹底する。

問 広報せいろう号外で、検討・見直し事業として、公共施設の見直しをあげている。具体的な改修工事等はいつから進めるのか。

町長 施設の方向性が定まったものから必要に応じて改修工事をする。施設利用者や利害関係者などの意見を聞き、委員会等を立ち上げて検討するため、ある程度時間が必要だ。

目指せ有効活用　旧亀代こども園

中学校

髙崎美由貴議員の視点

教科センター方式再開できるか

町長　4月からは不可能

問 教科センター方式の再開にあたり、生徒が混乱しないようどのような計画を立てているか。

教育長 年度当初は学級を基盤とした教育活動を行う。新しい環境に慣れ、人間関係が安定する時期に必要に応じて段階的にこの方式を導入していく。

問 2年前よりも発展させた内容を期待しているが、展望はあるか。

教育長 教科センター方式ありきで生徒をその方式に合わせるのではなく、生徒の状況に応じて活用するという考えだ。

問 教科センター方式は効果的かどうかをどう捉えているのか。

教育長 教科ごとに場所を移動するということだけではなく、生徒たちの状況に対応して学級を解体し、習熟度に応じて行えればとても理解ができるやり方だと思う。この方式が良いか悪いかではなく、使うのであれば効果的で必要性がある使い方をするべきだと思う。

大きな環境の変化に応じて、子どもたちは柔軟に学習している

不登校生徒との関わりは

問 不登校の生徒と学校との関わりをどのように考えているのか。

教育長 登校するという結果のみを目標にするのではなく、生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的自立を目指せるようになること。社会との関わりが閉ざされないように個々に応じたきめ細かな支援策を策定すること。社会的自立に向け、社会と関わりながら進路の選択肢を広げる支援を行うこと。これらが重要であると考え、今後一層相談支援体制を充実させ、生徒と関わっていきたい。

問 不登校生徒に対し、授業の様子をタブレット端末に配信して、学校の様子を見せるなどの活用は考えているのか。

教育長 学校に登校できていない生徒に対して、Ｚｏｏｍをつなぎ授業の様子を提供することはできる。しかし、不登校の状況にある生徒がその機能を使いつながることを拒絶すれば、その手法は難しい。そういう状況の生徒には、心をつなぐことが第一になってくる。

問 困っている子どもにとって、気軽に相談できるところがあること、継続的に町が相談に乗ってくれるということを認識できるような仕組みがあると良いと思うがどうか。

教育長 既存の相談窓口の周知に取り組む。また新たに教育相談員が配置され、町全体としての子どもたちの情報把握や相談窓口になると考えている。

普及

伊藤千穂議員の視点

マイナンバーカード全町民に

町長　積極的に働きかける

問 政府は令和4年度末には、マイナンバーカードが全国民に行き渡るように普及率を加速させると発表した。
　新潟県の交付率は34・2％で全国ワースト3位だが、最近の町の交付率はどれくらいか。

町長 3月1日現在で29・5％、県内30市町村中26番目となっている。

問 交付率の低迷を踏まえて、令和4年度はどのように普及に取り組むのか。

町長 町民課の窓口申請の補助に重点を置いて、広報に努める。またイベント会場や勤務先、集落内の施設などに出向いて行う出張申請を積極的に各種団体に働きかけ、申請数の増加につなげていきたい。

問 現行で行える町民サービスに加え、今後どのような手続きが行えるようになるのか。

町長 申請により健康保険証として利用できる。またマイナポータルから健康・医療・税・所得・年金等の情報を確認できる。他に、新型コロナウイルス感染症の予防接種証明をアプリから取得することができる。なお全自治体で、マイナポータルからオンラインで、子育て・介護関連に係る26の手続きを可能にする予定。

問 令和2年8月頃は、毎月100枚を超える申請および交付があった。そこから交付率が伸びなかった理由はなぜか。

町長 取得することにより、どう利便性が上がるのか、具体的にどれだけのメリットがあるのかを周知しなかったことが一番大きな要因。

問 積極的なキャンペーンなど、なぜしてこなかったのか。

町長 他の市町村から比べると、出遅れたのは否めない。役場庁舎だけで待っているのではなく、自ら出向いて向上させようと今動いている。町民が取得しやすい体制をつくっていく。

問 利便性を考え、コンビニで住民票や謄本の取得ができるようなシステム導入は考えているか。

町長 小さい規模の町村にとっては、導入経費があまりにも高額になる。国は人口3万人未満の自治体向けに自治体基盤クラウドシステムの運用を開始し、費用の低減を図ることを検証している。町もその内容について、検証を進めていく。

登録すると便利ですよ

ワクチン

中村恵美子議員の視点

できるか業者支援

町長 必要によっては補正予算で対応

問 売り上げが大幅減となっている全業者に助成金を出すことはできないか。

町長 休業手当等の一部を助成する雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が一定以上減少した中小法人や個人事業主に対し、法人では最大250万円、個人事業者で最大50万円を支給する事業復活支援金などがある。

国・県の支援制度を検討してもらいたい。

問 年度末に向けた資金繰り支援の強化はどうか。

町長 利子補給は、中小企業振興資金、中小企業不況対策特別資金、新型コロナウイルス感染症対策特別融資について、すでに行っている。

問 新型コロナウイルスの収束が見えない中、店舗を抱えている業者に支援を行えないか。

町長 町の財政規模において、全ての事業者に助成を行うことは難しい。

問 地方税、国保税の滞納処分に関して、納税緩和措置を周知するとともに、積極的な活用を図るべきでないか。

町長 地方税の徴収猶予の特例制度は、納期限が令和2年2月から令和3年1月までの納期分までが対象だ。制度が適用できる期間中は個別に案内の通知を行ったり、徴収における納税相談の際に周知、案内するなど積極的活用に取り組んできた。

問 住宅リフォーム補助率を20％以上にすることで、リフォームする人にメリットを感じられるようするべきでないか。

町長 暮らし応援事業では、利用実績で3月4日現在251件と多く活用されている。補助率は10％でも効果としては十分メリットがあった。

ワクチン接種をしましょう

ワクチン配分大丈夫か

問 新型コロナウイルスワクチン接種の3回目が始まった。今後のワクチン確保の見通しは立っているのか。

町長 本町は5月22日までに、およそ1万2千回分のワクチンが配分される見込みだ。追加接種のワクチン確保はめどが立っている。

問 抗原検査キットは、どの程度保有しているのか。

町長 町で約千回分保有している。園や学校などで感染者がでた場合でも、ある程度対応できる。

責任

青木 順議員の視点

先生の声は町に届いているか

町長 校長会を通じ聞いている

問 広報に子どもへの投資という観点から、先生方の負担軽減のサポートとして教育相談員の配置、教育指導主事を1人増員とある。今年度先生方へのサポートはどのような成果が見られたか。

教育長 教職員の事務的な業務の多くを代行してもらい、超過勤務時間が短縮された、子どもと向き合う時間が増えた等の声を多く聞いている。

問 長時間労働や過酷な労働環境、いじめ問題の複雑化など「先生は忙しすぎる」が根付き、全国では2500人もの教員が不足している。本町においては、どのような状況か。

教育長 現在、教職員の欠員はない。来年度も必要な教員数は確保できている。

コロナ禍の政策は

問 コロナ禍において自殺者が増加傾向にある。当町の推移はどうか。

町長 平成29年～令和3年で12人が自死され、このうち、コロナ禍の令和2年～令和3年では6人が亡くなっている。

問 コロナ禍で子どもたちの運動不足が深刻だ。スポーツ少年団や部活動などにおいて早期に再開できるよう検討できないか。

教育長 感染拡大を防止し、教育活動を適切に実行するための措置なのでご理解いただきたい。

目指せ未来のオリンピアン

町の政策順調か

問 ふるさと納税寄付金額の推移はどうなっているか。また、町内から他市町村へのふるさと納税により町民税はどの程度減っているか。

町長 取り組み当初の平成28年度が523万円、令和3年度は2億2500万円を見込んでいる。他市町村への寄付による町民税の控除額は令和3年度では708万円となり、令和2年度の1・6倍に増加している。

問 暮らし応援事業は来年度も継続するようだが、費用対効果と、今年度実施した中での課題は。

町長 事業費ベースで約15億5千万円強の需要創出が図られており、そのうち町内業者分としては約3億5千万円の効果が得られている。課題は町内と町外の事業者の補助率に差があることで、町外業者に発注した方は十分なメリットが得られないということだが、改めて検証したい。

問 消防団の処遇改善を。

町長 消防団と一緒に考え、対応していきたい。

選挙公約

田中智之議員の視点

町長の選挙公約　実現されたか

町長　真摯に受け止め不断の努力を

4年前の町長選挙で西脇町長が掲げた公約を検証した。以下の公約は実現されたか。未達成の場合はその理由と、今後半年弱でどう進めるのか。

問 食育の観点から給食を充実させるとあったが、どう充実させたか。

町長 適切な栄養管理を実施。聖籠町の食文化の継承も成果が出ている。

問 小・中学校の学力を県平均まで向上させるとあったが、どうなった。

町長 全国平均との比較で小学校の国語は同等、算数は上回る。中学校の国語は全国平均を下回り、数学は大きく下回る。

問 高齢者応援手当を平成29年度水準に戻すとあったが、第1～第3段階の対象者は戻っていない。なぜか。

町長 予算としては平成29年度と同水準の約1千万円の予算額を確保した。

問 障がい者支援は一人ひとりが自分の能力を発揮できる施策を推進するとあった。何を推進した。

町長 介護サービスの相談支援と、日常生活に必要な支援の拡充。

問 ※デマンドタクシー導入を検討するとあったが、検討したか。

町長 検討した結果、導入は適当でないと判断。

問 公共事業は既存施設の改修を優先し、関連する町内中小企業・自営業者の活性化を図るとあった。どう活性化したか。

町長 新規事業で4億4800万円の実績。企業等の活性化につながった。

問 「借金100億、貯金は5億」と町財政の危機を訴えた。確かに借金は減ったが貯金は増えたのか。

町長 平成30年度比で約1億5300万円の増額。

問 変えるのは今！というスローガンを掲げたが、町はどう変わったのか。

町長 全てを一度に見直すのは財政面等からも無理がある。できることから着実に行うことで変化を実感できる。コロナ禍で思うように進められなかった部分もあるが、それは真摯に受け止める。

町民との約束は守ったか

成人式の延期 対象者への周知は

問 成人式が2年続けて延期となっている。平成13年度生まれの対象者は昨年8月に実施のはずだったが、延期の知らせが届かず、新成人や保護者から戸惑いや不満の声を複数聞いた。どう考える。

教育長 対象者を、21歳を迎える皆さんと変更したため混乱を招いた。お詫びする。今年は同日ではないが2つの学年で実施したいと考えている。

一口メモ
※利用者の自宅と指定された目的地の間をドアツードアで運行する「予約制」のタクシー

議員定数・報酬検討特別委員会

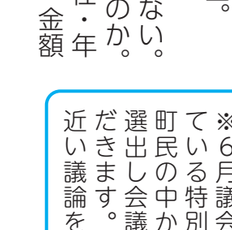
本委員会では令和3年12月から令和4年1月にかけて「議員定数・報酬」について町民アンケートを実施しました。その結果、244人という多くの皆さまから真剣かつ忌憚のないご意見をいただくことができました。今後、このアンケート結果を踏まえた上で、本町における適正な議員定数と報酬を検討していきたいと考えています。

以下にアンケート結果と、寄せられたご意見のうち主なものを掲載いたします。

回答件数　244件

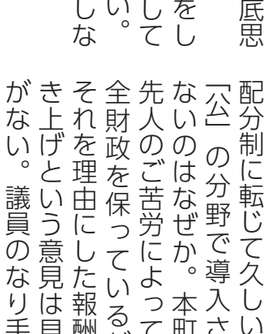
性別
男性138人
女性103人　未記入3人

年代
10代　1人　20代14人
30代33人　40代41人
50代41人　60代52人
70代42人　80代17人
未記入3人



定数

現在14人

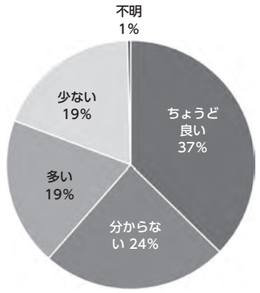


★多い
・人口ではなくて仕事量で決めて下さい。
・あまり質問をしない議員がいる。
・議会報告会で議員の質の悪さを実感したから。
・議員の活動が見えない。
・人口規模の割に多い。
・定数減で質の向上を。
・町財政面から2人減で。

★少ない
・仕事が多岐に渡っている。個人負担の減を。
・より多様な意見や考えを町政に反映するため。
・人口に対して少ない。
・各集落に議員を。

★ちょうど良い
・多いと意見がまとまらず、少ないと民意が反映されないのでは。
・人口の割合や他町村との整合性の点から妥当。

★分からない
・そもそも人口千人に議員1人が適当なのか。
・全ての議員が町を良くするために真剣に取り組むなら人数は問わない。



報酬

議員23万円
副議長25万4千円
議長31万千円

★多い
・他町村より多い。当町だけが議会に過大な役務を課しているとは到底思えない。
・現状ダブルワークをしている議員や議員としての質が低い議員が多い。
・議会で一度も発言しない人が多いと聞く。
・町長と議長は高い。
・民間に比べて多過ぎる。
・居住実態がないと言われる議員もおり、無報酬もしくは成果主義に。

★少ない
・若い世代も政治に参加できるように増やせ。
・町の代表という責任の割には少ない。
・最低25万円以上にし、やる気のある人材を。

★ちょうど良い
・他町村との比較で適当。
・住民一人当たりの議員への負担額から妥当。

★分からない
・仕事内容が分からない。
・何と比べればよいのか。
・議員も専任・兼任・年齢差があるが、同一金額で良いのか。

その他　議会への意見

・民間企業の給与が業績配分制に転じて久しいが、「公」の分野で導入されないのはなぜか。本町は先人のご苦労によって健全財政を保っているが、それを理由にした報酬引き上げという意見は見識がない。議員のなり手不足は報酬うんぬんではなく当選ハードルの高さが原因だ。
・議員定数は、今後、多様化する社会の中で行政をチェックし住民要求を丁寧にくみ上げ、どう具体的に行政に反映させるのかを基準にすべきだ。議員はより質の高い力を身に付け、皆が公約に掲げた住みよい町づくりを実践する必要がある。

※6月議会後に予定している特別委員会から、町民の中から参考人を選出し会議に参加いただきます。より民意に近い議論を目指します。

ようこそ聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。

わたなべ　よしこ
渡辺　由子さん
(二本松)

知恵と知識で新しい風を!

今回は二本松集落の、渡辺さんご家族です。

Q家族構成を教えて下さい。

夫婦2人家族です。

Q出身地と聖籠町在住年数をお願いします。

主人は二本松。私は新発田の滝谷新田出身ですが、33年間東京に住んでいました。聖籠町には8年在住です。

Q聖籠町の良いところ(好きなところ)を教えて下さい。

しっかりとした物言いをする。その中に優しさと熱いものを感じる「人間性」。そんな人々に囲まれ、随分助けられ生活しています。

Q町に対する希望・要望をお願いします。

関東で言ったら横浜に類似している聖籠町。子育てについては、無償化、民営化、そして町内放送での情報共有と見守り。これからも古き良きものを大切に、新しい改革を恐れることなく実践し発信していってほしい。県へ、日本へ、世界へ、知恵と知識で新しい風を吹かせてほしいです。

Q渡辺さんご家族の今後の夢を教えて下さい。

「日々是好日」で、穏やかな「日常」を生きていきたいです。

お知らせ ～ information ～

議会トップページはこちらから

次回の定例会は、6月7日(火)開催予定です。

本会議を聴くことができます

①FM 放送
エフエムしばた 76.9MHz

②インターネットサイマルラジオ
右のQRコードから聴くことができます。

★表紙の写真★
「さくら満開 えがお満開」(せいろう幼稚園入園式)

桜満開の中、せいろう幼稚園で入園式が行われました。
(4月11日)

発行責任者	
議長	五十嵐利栄

広報広聴常任委員会	
委員長	宮沢さやか
副委員長	伊藤千穂
委員	中村恵美子
	田中智之
	青木順
	髙崎美由貴

編集後記

コロナ禍で私たちの生活は、大きく様変わりをしました。この生活も2年を超え、令和元年8月の改選後は、ほぼ新型コロナウイルスとともに過ごしてきました。

広報広聴常任委員会でも、リモートを活用した会議を開催したり、紙面に掲載する写真撮影を考慮したりと、活動自体も大きく変わりました。紙面の内容に関しても、より多くの町民の皆さんに議会に興味を持ってもらえるよう、また多くの皆さんに「議会だより」を手に取っていただけるよう作成に試行錯誤をしております。

町民の皆さんからは、多くの方に紙面にご協力をいただき感謝致しております。今後も、より分かりやすく、読みやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思います。

皆さんから、議会だよりを読んだ感想やご意見など、ご助言もいただけたら幸いです。

広報広聴常任委員会
副委員長　伊藤　千穂

発行　新潟県聖籠町議会
編集　広報広聴常任委員会
印刷　昭栄印刷株式会社

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4　TEL (0254) 27-1967　FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます　聖籠町議会　検索

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。